

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先だけでなくサプライチェーンの深い層の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体で の付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

(個別項目)

- ・既存事業の基盤強化と新規事業創出の更なる加速化を目的として、社内に「CVC 推進部門」を新たに設置し、脱炭素・エネルギー及び DX 領域に関連するスタートアップとの連携を通して、自社独自のカーボンニュートラル化サービスや省力化サービスの開発を目指します。
- ・当社を含む山陰酸素グループは、ビジョンとして「幸せをめぐらせるグループになる。」ことを標榜しています。「働く人の幸せ」を中心に据え、栄養バランスのよい置き社食サービスの導入や禁煙チャレンジデーの設定などを通じた従業員の生活習慣改善や、働きがいアンケートを通じた従業員のエンゲージメントの向上に取組んでいます。まず従業員一人ひとりの「幸せ」からはじまり、周囲への還元により地域と社会へ幸せをめぐらせる、好循環の実現を目指します。

2. 「振興基準」の遵守

発注方法の改善、対価の決定の方法の改善、代金の支払方法の改善、型等に係る取引条件の改善、知的財産の保護及び取引の適正化等を含む委託事業者と中小受託事業者との望ましい取引慣行（受託中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

3. その他

約束手形の利用の廃止に向けて、大企業間取引も含め、現金払いや電子記録債権への移行に取り組みます。

受託中小企業振興法に基づく「振興基準」の内容を理解した上で宣言します。

2026年1月27日

山陰酸素工業株式会社
代表取締役社長 並河 元